

2024 年国立政治大学日本語文学科国際シンポジウム

10/19 東アジア言語文化研究の未来への展望と挑戦

9:20-9:50	受付		
9:50-10:00	開会式		
10:00-10:45	<p>基調講演 1</p> <p>司 会：鄭家瑜(政治大学教授)</p> <p>講演者：魏然(北京外国語大学副教授)</p> <p>タイトル：文化の接近性と「異国」への想像——中国の SNS における日本ドラマ『孤独のグルメ』の受容</p>		
10:45-10:55	Tea Break		
10:55-11:40	<p>基調講演 2</p> <p>司 会：葉秉杰 (政治大学副教授)</p> <p>講演者：文昶允(筑波大学准教授)</p> <p>タイトル：日本語学習者の発音評価と訂正における教師の行動と判断基準</p>		
11:40-11:50	Tea Break		
11:50-12:35	<p>基調講演 3</p> <p>司 会：王淑琴 (政治大学教授)</p> <p>講演者：小松奈々(高麗大学助教授)</p> <p>タイトル：接触場面における意見表明—「かな」と「よね」に着目して—</p>		
12:35-14:00	昼食		
14:00 15:35	論文発表第一セッション		
	会場 A(政治大学行政ビル七階第一会議室)	会場 B(政治大学行政ビル七階第二会議室)	会場 C(政治大学行政ビル七階第五会議室)
	座長：深尾圓 (高雄大学教授)	座長：齋藤正志 (中國文化大学教授)	座長：申宰暎 (高麗大学研究教授)
	発表者：大嶋恵美 (東呉大学博士課程)	発表者：市川春樹 (東呉大学兼任助教授)	発表者：陳由瑋 (中興大学人文社会科学前瞻研究中心博士後研究員)
	テーマ： 第二外国語としての初級クラスにおける絵本を用いた言語理解と語彙習得の実践研究 —あいさつをテーマにした絵本を中心に—	テーマ： 旧字体とは何なのか—康熙字典体と当用漢字字体表めぐって	テーマ： アイヌ民族の和名化の展開過程
コメント：陳嬾如 (靜宜大学助教授)	コメント：山藤夏郎 (政治大学副教授)	コメント：楊素霞 (政治大学教授)	
発表者：江俊賢 (高雄科技大学助教授)	発表者：城戸秀則 (政治大学兼任助教授)	発表者：塚本善也 (中國文化大学副教授)	

	<p>テーマ：台湾人日本語学習者の文末引用形式「～と。」「～って。」の機能拡張—機能主義的観点から—</p> <p>コメント：尾崎学（開南大学副教授）</p>	<p>テーマ： 「決定」を表すとされる「Vことにする」の指導法をめぐって</p> <p>コメント：林玉恵（輔仁大学教授）</p>	<p>テーマ： 狩野直喜とアレクセーエフの交流とその後</p> <p>コメント：申宰旼（高麗大学研究教授）</p>
	<p>発表者：黒崎貴史（政治大学助理教授）</p> <p>テーマ：若年層初対面談話における比況・推量の「ぼい」と「みたい」のシフトについて—『BTSJ 日本語自然会話コーパス』を用いて—</p> <p>コメント：深尾圓（高雄大学教授）</p>	<p>発表者：栗田岳（電気通信大学准教授）</p> <p>テーマ： 過去の出現 - 動詞「をつ」をめぐって -</p> <p>コメント：齋藤正志（中國文化大学教授）</p>	
	質疑応答		
15:35-15:50	Tea Break		
	論文発表第二セッション		
	会場 A(政治大学行政ビル七階第一会議室)	会場 B(政治大学行政ビル七階第二会議室)	会場 C(政治大学行政ビル七階第五会議室)
	座長：曹英南（高麗大学教授）	座長：施列庭（輔仁大学副教授）	座長：張修慎（靜宜大学教授）
15:50 16:55	<p>発表者：占部匡美（銘伝大学講師）</p> <p>テーマ：グループディスカッションにおける参加者の役割と論理的思考力変化の分析</p> <p>コメント：羅曉勤（台中科技大学教授）</p>	<p>発表者：馬嘉翔（政治大学博士課程）</p> <p>テーマ：生成式人工知能（Generative AI）は人間のように漢字変換を行うか—表記頻度を中心に—</p> <p>コメント：陳相州（東吳大学副教授）</p>	<p>発表者：増田高志（政治大学兼任助理教授）</p> <p>テーマ：『民俗台湾』の雑誌空間特性とその役割</p> <p>コメント：張修慎（靜宜大学教授）</p>

	<p>発表者：柳町智治（北星学園大学教授）</p> <p>テーマ：サービス場面の会話はどのように開始されるのか—日本国内の観光案内所における観光客とスタッフの相互行為—</p> <p>コメント：曹英南（高麗大学教授）</p>	<p>発表者：中澤一 亮（元智大 学副教授）</p> <p>テーマ： 既存の 360°バーチャルツア ー作成ツールの日本語教育 への応用可能性</p> <p>コメント：施列庭（輔仁大 学副教授）</p>	<p>発表者：富田哲（淡江大学副教 授）</p> <p>テーマ：1960 年代初頭の日本で の「台湾論」：吉村暁、加藤芳 男『自由中国の表情』を例とし て</p> <p>コメント：林果顯（政治大学副 教授）</p>
	質疑応答		
17:05-17:20	閉会式		
17:30-19:00	懇親会		